

| | | | |
|-----|----|-------|-------|
| 科目名 | 法学 | 科目コード | 30400 |
|-----|----|-------|-------|

| | |
|----------|--|
| 学科名・学年 | 全学科・4年（プログラム1年） |
| 担当教員 | 佐藤 公俊（一般教育科） |
| 単位数・区分 | 1単位・選択 |
| 開講時期・時間数 | 後期，30時間【内訳：講義30】 |
| 教科書 | 自作プリント |
| 補助教材 | プリント、ビデオ、インターネット、プレゼンテーション |
| 参考書 | 松下圭一著『政治・行政の考え方』岩波書店（1998）、同著『市民自治の憲法理論』岩波書店（1975） |

【A．科目の概要と関連性】

学生諸君には授業に参加して、人権思想、平和主義、民主政治・市民主義思想をテーマとした授業を聴いて、人権、民主主義および平和についての社会科学的な知識を獲得してもらう。

また、社会科学的な問題の把握の仕方と、それを表現する方法、および人権／倫理への配慮、これらを身につけることに資する。

関連する科目：現代社会、歴史、社会学、歴史学 / 、経済学、哲学、

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(A1)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

| 到達目標 | 評価の重み | 学習・教育目標との関連 |
|--|-------|-------------|
| 人権について学び、新しい人権や男女同権論について理解する。 | 25% | A1 |
| 世界の現状とあるべき姿および平和主義を理解する。 | 25% | A1 |
| 社会契約思想についての古典と現代的な文献から民主主義及び市民主義／市民主権について理解する。 | 50% | A1 |

【C．履修上の注意】

日本国憲法の三大原則をメインテーマとして、平和主義、基本的人権の尊重、民主主義について講義を進めて行きます。学生諸君はモラルやマナー、ルールの意味や大切さを、さらに本校学生として特に、エンジニアとしての職業倫理の大切さを理解してください。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

定期試験（50%）【内訳：後期末50】、レポート／小論文など（50%）

【E . 授業計画・内容】

後期

| 週 | 内容 | 備考 |
|----|---|----------------|
| 1 | ガイダンス、レポート作成の注意 | |
| 2 | 人権について：憲法の人権規定 | |
| 3 | 男女同権化：女性の同権化およびエンパワーメント (Gender and Development : GAD) | 国連開発計画の人間開発報告書 |
| 4 | 男女同権化：性別役割分業論 | 5 5 年体制家族 |
| 5 | 男女同権化：社会構成と男女共同参画社会 | 男女共同参画社会基本法 |
| 6 | 平和主義について：憲法前文、第9条 | |
| 7 | 平和主義について：世界の平和 / 安全保障への課題 | |
| 8 | 平和主義について：カントの『永遠平和のために』 | |
| 9 | 民主 / 市民主義と社会契約論 | |
| 10 | 社会契約論について：ロックの民主 / 市民政府論 | |
| 11 | 社会契約論について：ホッブズの国家論 | |
| 12 | 社会契約論について：ルソーの人民主権論 | |
| 13 | 市民主義について：松下氏の国家主権論批判 | |
| 14 | 市民主義について：松下氏の市民主権論 | |
| - | 学年末試験 | 試験時間：80分 |
| 15 | 試験解説と発展授業 | |